

本号では、虚血性腸病変に対する各執筆者の強烈な意気込みが感じられる。名称、肉眼型分類、病期分類、原因別の虚血性病変の特徴、経時の変化、障害血管の種類とレベルからみた虚血性腸病変の特徴、などに新知見をみることができる。これは、白壁彦夫先生の序説にもあるような“新しい捉え方”が部分的に生かされたからでもあろう。

Boley や Marston の ischemic colitis が新しい概念として迎えられた。しかし、その定義、肉眼型分類、運用などに矛盾があることが指摘されて久しい。本号の新知見が次世代を担うものであってほしい。とはいえ、虚血性腸病変はまだ多くの問題点を抱えている。例えば、縦走潰瘍などを含

む病変の形態形成機序、原因別の虚血性病変形成機序である。また、*Escherichia coli*, O 157: H 7 や抗生剤による出血性虚血性病変は通常の虚血性腸病変と肉眼的ばかりでなく、組織学的にも近似する。これらの病変は、原因が異なっても、同一機序(血管攣縮など)で発生している可能性が強い。

“虚血性腸病変は早く自然治癒するから、忙しい消化管専門医師があまりエネルギーをさく必要はない”とする人もいる。“ささい”と人間が判断する現象の中にも、すべてに共通する法則を神が与えていることがある。それを求める糸口に本号がなればと願っている。

胃と腸

9月号(第28巻・第10号) 予告

発売予定 9月20日
定 価 1,957円(税込)

主題／胃悪性リンパ腫—診断の変遷

序 説	胃悪性リンパ腫—1980年以降の変遷……………山梨医大・1内	藤 野 雅 之
主 題	悪性リンパ腫の組織学的分類—その時代的変遷……………杏林大・2病理	毛利 昇・他
	胃原発悪性リンパ腫の病理学的特徴……………福島医大・1病理	小野 伸高・他
	胃悪性リンパ腫の病理形態診断と鑑別—その変遷……………新潟大・1病理	遠藤 泰志・他
	胃悪性リンパ腫診断の変遷—臨床の対応：画像診断の面から……………藤田保衛大・内	中野 浩・他
	胃 MALT リンパ腫 32例の臨床像……………九州大・2内	末兼 浩史・他
主 題 研 究	胃原発悪性リンパ腫内視鏡診断の変遷……………東京医大・4内	川口 実・他
	経過観察例からみた胃悪性リンパ腫の診断学的問題点と遺伝子検索の有用性……………国立がんセンター・内	小野 裕之・他
主 題 症 例	胃原発未分化大細胞性リンパ腫(Ki-1陽性リンパ腫)の1例……………慈恵医大・病理	二階堂 孝・他
	胃 RLH の経過観察中に見出された胃悪性リンパ腫の1例……………九州大・2内	堺 勇二・他
	多発した早期胃悪性リンパ腫の1例……………武雄病院・外	久原 敏夫・他
	RLHとして4年8か月の経過観察中、遺伝子検索で診断しえた胃 MALT リンパ腫の1例……………旭川医大・3内	横田 欽一・他
	内視鏡像の急激な変化を来し、悪性リンパ腫との鑑別が困難であった胃 RLH の1例……………大阪医大・2内	滝内比呂也・他
	胃 MALT リンパ腫の1例……………鹿児島大・2内	青崎真一郎・他
今月の症例	食道腺様嚢胞癌の1例……………都立駒込病院・内	門馬久美子・他
	小さな大腸 sm 癌の1例……………豊橋市民病院・内	岡村 正造・他

胃と腸 (第28巻 第9号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1993年8月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料 26,240円(本体25,476円)

(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1993, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。

(担当)小松原・渡邊・江口・長谷川